

# 全労世労働者の底力

## 「60・3」粉碎！ 首切り「三項目」阻止

# 日刊 動労千葉

85. 2. 14

No. 1863

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 動労千葉・国労青青年部の共闘必前進津田沼

2月12日、12時より津田沼電車区中庭において、80名を結集して国労津田沼電車区分会と動労千葉津田沼支部の両青年部共催による「『60・3ダイ改』粉碎、首切り『三項目』阻止、検修合理化粉碎、第二波青年部共闘総決起行動」を勝ち取りました。

支部通信員・発

怒りと弾効が渦まいています。

職場には怒りと闘う力がある！！

動労「本部」革マルは縮みあがり  
消耗し、当局は区長を先頭に逃亡

職場の多くの仲間が注目するなか、昼休みを使って行われた電車区中庭での総決起集会には、両青年部員80余名が結集し、断固たるシュプレヒコールをもって開始されました。両青年部より、1月29日の歴史的な「第一波共闘行動」の成功と今後の闘いの発展を確認し、さらに力強く闘いぬいていく決意が述べられました。「60・3」大合理化は、職場にすさまじい労働強化と首切りをもたらし、分割・民営化への決定的な突破口としてかけられており、絶対に認めることはできません。今、職場には激しい怒りが渦まいています。現場には、正しい方針が断固として示されれば、闘いに決起していく決意と力があります。また、ひとにぎりの裏切集団「動労「本部」革マル」への

両青年部は、意気天をつく団結ガンバローのうち、共にスクラムを組み元氣よく構内デモを展開し、区長室への抗議行動に移りました。区長・浜田は、われわれの怒りにおそれをなし、またしても逃亡するという卑劣な対応しかできませんでした。われわれは、さらに第三、第四の行動で当局を追いつめていく決意です。われわれは、現場の労働者の声を一切聞かず、労働強化と首切りを一方的に強行する「60・3」攻撃に屈服することは絶対にできません。

「60・3」粉碎！ 総決起・総行動を全力で貫徹し、3・24三里塚七割決起を実現させたいと思います。

## 寮費値上げ 独身寮の仲間が実力決起 絶対反対

国鉄当局は、この一月から全く一方的に独身寮の光熱水費等をすべて寮生に負担させて、二月より徴収しようとしています。

寮通信員・発

「不当な値上げ分」は払えない！

これによって一月分の寮費は「現行の4倍から5倍」になろうとしています。各寮によって差はありますが、当局の試算（昨年2月実績）では実に「七〇〇〇円～一万円」にもなるということです。

て寮生への切り崩しをかけてきています。いわく「規定を改正した」「2月20日に退寮させる」「処分するぞ」……。こうしたデータメな恫喝と甘言をもって不払い闘争を圧殺する攻撃に対決していくために、2月12日、津田沼寮自治会は弁護士と対策会議をもちました。

このなかで当局が言う「強制退寮」「処分」の二点と今後の取り組みについて論議しました。菅野弁護士は、

① 当局が強制的に退寮させることはできない。  
② 処分は絶対にできない。と明確に話されました。

私たちは、このような無謀な値上げをとうてい認めることはできません。千葉寮、津田沼寮の両自治会は「値上げ分不払い」の方針を決定しました。そして現行の寮費を自治会が集め、当局につきつけようと寮生に訴え、当局関係者以外のほとんどが参加するという闘いを実現させました。

卑劣な切り崩しを許さず闘いを貫く  
追いつめられた当局は、現在卑劣な手段を使っ

私たちは「60・3」粉碎！ 首切り「三本柱」阻止！ 国鉄労働運動解体攻撃をはねかえすステップとして、寮費値上げ反対の闘いを全国の先頭で取り組んでいく決意を固めました。共に闘いましょう。